



BベEテIルH通E信

2026年8月号（第277号）

松山ベテル病院 松山市祝谷6丁目1229番地 Tel089-925-5000

ホームページ <https://www.bethel.or.jp/>



医療機関における個人情報保護に向けた取り組み

医療機関では患者さまの基本的な情報（氏名、住所、性別等）だけでなく、病名や検査データなどの「要配慮個人情報」を取り扱います。要配慮個人情報とは、患者さま自身に不利益が生じないように特に配慮を要する個人情報のことです。

こうした患者さまの個人情報を守るために当院では、以下の点について特に注意を払っています。

①患者情報取得時の、利用目的の周知

入院時に個人情報の利用目的を明確にした説明文書「個人情報保護についての取り組み」をお渡しし説明・同意の上で診療しています。外来の患者さまについては、院内各所に掲示・周知し理解を得るように努めています。

②電子カルテ等の医療情報システムにおけるセキュリティ対策

電子カルテシステムや院内で共有しているファイルデータ等は、原則外部ネットワークとの接続を禁じることで、情報漏えいや不正アクセス防止の対策を講じています。



③職員教育

当院では、個人情報保護委員会ワーキングチームを設置し、当チーム主催の個人情報保護研修会を毎年実施しています。この研修へ全職員の参加を義務付けることで、個人情報保護に関する新たな知見を取り入れています。また、当チームによる院内ラウンドを実施し個人情報が適切に管理されているか確認し、必要に応じて各職場へフィードバックすることで適切な個人情報の取扱いを実践しています。

④BCP（事業継続計画）の策定

個人情報の漏洩について脅威となるのがサイバー攻撃です。前述した通り院内での気密性を保つことで、ランサムウェアの侵入を防ぐ努力をしています。更に地震等の自然災害や新興感染症の感染拡大に備えたBCP（事業継続計画）の策定に着手し、被害を最小限に抑えて早期復旧・継続させられるよう対策を講じてまいります。

医療機関では、患者さまのプライバシーを守りながら、適切な医療を提供するためのバランスが常に求められます。特に近年は医療情報の電子化や急激な生成AIの進歩等により、より高度なセキュリティ対策が必要となっています。

個人情報保護に真摯に取り組むことは、患者さまとの信頼関係構築の基盤になるものと考えており、勤務するスタッフ全員が患者さまの権利と尊厳を守る意識を強く持つことで、患者さまとご家族が安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

松山ベテル病院 個人情報保護委員会 ワーキングチーム
医事課長 磯部 勝弘



精神神経系と傷寒論



傷寒論^{しょうかんろん}は、漢の時代に編纂^{へんさん}された中国医学の書です。中国ではもちろん、日本ではさらに特別重要な古典のテキストとなっています。日本で現在使われている漢方薬は、その多くが傷寒論由来です。漢の時代に、「傷寒」という感染症で、適切な治療を受けることができず、人々がたくさん死んでゆくを見て憂^{うれ}いた張仲景^{ちやうちゆうけい}が記したということです。

内容を大雑把に言いますと、「傷寒」が感染し、その病邪^{びやうじゃ}がとどまっている位置により、熱症状の出ている太陽病（表）・少陽病（半表半裏）・陽明病（裏）、寒症状の出ている太陰病・少陰病・厥陰病に分類されます。それまでの治療してきた経験を踏まえて、学びやすいように、体系的に整理した理論だと思いますので、ここは気にせず読み進めてください。

どの部位でどういう症状があるときには、この薬を使う、それに間違った治療を施して、別の症状が出てしまった時にはこの薬を使う、とかなり事細かに解説されています。

本来は感染症に使う薬を、現代の様々な症状に応用しようとしているのですが、その中には精神神経系の症状も含まれます。以下に処方を紹介してみます。

107 条 柴胡加竜骨牡蠣湯^{さいこかりゅうこつぼれいとう}

「傷寒」にかかって、8,9日になった。便秘したので下剤を与えたところ、胸部が充満して、神経過敏の状態になり、尿は少なくなり、譫語^{うわごと}や体が重くなって、寝返りすることもできないものは柴胡加竜骨牡蠣湯の主治である。

生薬^{しょうやく} 柴胡^{さいこ} 竜骨^{りゅうこつ} オウゴン^{しょうきやう} 生姜^{けいし} 桂枝^{ぶくりやう} 茯苓^{はんげ} 半夏^{だいおう} 大黃^{ぼれい} 牡蠣^{たいそう} 大棗

桂枝・柴胡・大黃が含まれているので、太陽病・少陽病・陽明病の合病の治療薬です。ただ、ツムラの処方では、大黃が含まれてないので陽明病の治療の意味はなくなっています。（コタロー、クラシエの製品には大黃が含まれています。）

柴胡・桂枝が発散する作用を持つのにに対して、竜骨・牡蠣が収れんさせる作用を持ちます。前者で気をめぐらし、後者で浮き上がりすぎたものを鎮めるイメージです。先にも言いましたが、大黃（下剤としての作用あり）が入っておらず、逆に人参^{にんじん}が入っており体力をそれほど奪わないので、体力充実という感じでない人にも使えそうです。

以前、安定剤を多量に服用しておられた患者さまがいました。これを服用することにより、1/3量まで減量できたことがあります。また、嫌な夢を見るという人に投与して改善したこともありました。

近い処方に抑肝散^{よくかんさん}があります。不穏状態^{ふおん}になった患者さまに投与されているのを、時々目にします。抑肝散の中には釣藤鈎^{ちやうとうこう}という生薬が含まれており、それは精神の興奮、頭痛、ストレスに伴う症状に対して用いられます。柴胡加竜骨牡蠣湯に含まれる竜骨・牡蠣は、精神不安・イライラ・不眠症・動悸・多汗に対して用いられます。作用は似ていますが、安心作用は竜骨・牡蠣のほうが強いように感じられます。

柴胡加竜骨牡蠣湯によって、不安感などが落ち着く方向へ向かう患者さまもいるかもしれません。



食事に関するアドバンス・ケア・プランニング (ACP)※



—ご家族と一緒に考えたい「食べる」こと—

食事は、栄養を摂るためだけのものではありません。好きな味を選ぶ楽しみ、家族と一緒に食卓を囲む温かさ、思い出の料理——それらはすべて、その人の人生を彩る大切な時間です。だからこそ、病気の進行や体力の低下により「食べること」が難しくなったとき、ご家族が深い不安や葛藤を抱えるのは当然のことです。

ACP では、ご本人がどのような食事を望んでいるか、どこまで安全に食べられるか、ご家族がどんな思いを抱いているかを一緒に話し合いながら、最適な選択を探していきます。

●ご本人の気持ち

病気が進むと、「食べたい」「食べたくない」という意思がはっきりしないことがあります。過去はよく食べていた方でも、今は量が食べられない、味の好みが変わる、疲れて食べられない——そんな変化が起こります。ACP では、こうした変化を丁寧に見つめながら、無理のない食事の形を考えていきます。

●ご家族の思い

ご家族にとって「食べさせてあげたい」という気持ちは、愛情そのものです。しかし、誤嚥^{ごえん}の危険が高まると、「食べさせたいけれど、苦しい思いをさせたくない」という葛藤が生まれます。その気持ちはとても自然で、誰もが抱くものです。

ACP では、「どうすればご本人の望みとご家族の思いの両方を大切にできるか」を一緒に考えていきます。

●医療的な安全とのバランス

嚥下^{えんげ}機能は日々変化し、絶対に安全な食事というものはありません。医療者は誤嚥や肺炎のリスクを考慮しながら、お体の状態に合わせた「食べる楽しみ」を守る方法を検討し続けます。

●言語聴覚士として目指すこと

ACP は「食べるか食べないか」を決めるためのものではありません。それは、“その人が最後まで自分らしく過ごすための選択肢を、ご家族と一緒に考えるプロセス”です。

言語聴覚士として、「食べること」「話すこと」「伝えること」を通して、そのプロセスに関わり、ご本人やご家族の思いを形にできるよう努めてまいります。



※アドバンスケアプランニング (ACP) とは「本人が家族等や医療・ケアチームとあらかじめ終末期を含めた今後の医療・ケアについて繰り返し話し合う取り組み」のこと (厚生労働省)

外来診療日のお知らせ

◎ 豊田 泰孝 医師（精神科・心療内科）

8月5日（水）、8月19日（水）

◎ 8月の休診（7月23日現在）

8月4日（火）森 洋二 医師（脳神経外科）

8月6日（木）松井 貴司 医師（内科）

◎ 8月15日（土）はマイクロバスを全便運休いたします。



松山ベテル病院では、接遇目標・医療安全推進目標をかかげています

8月接遇目標



接遇委員会

7・8月 医療安全推進目標



医療安全委員会

新人紹介

かたおか あおい
片岡 葵



配属部署：3階西病棟

職 種：看護師

抱 負：患者さま一人ひとりに寄り添った温かい看護を提供できるよう、日々の学びを深めていきたいです。



たかだ まさひこ
高田 真彦



配属部署：施設管理課

職 種：夜警員

抱 負：オールドルーキーですが、ヤル気充分頑張ります。



掲示物紹介



波の音に、
癒されたいですね～♪

1階：薬局カウンター

- ・投函箱を外来・各病棟に設置しています。皆様のご投函をお待ちしております。
- ・『ベテル通信』について、ご意見やご要望を「ご意見箱」へお寄せください。
- ・掲載中の写真についてはご本人、ご家族の許可を得ています。

発行日 2026年7月23日